

エスコンフィールドHOKKAIDO



外観

北海道日本ハムファイターズの新球場「エスコンフィールドHOKKAIDO」。開閉式の切妻屋根、高さ約70mのガラス壁、掘り込み式でフィールドに近い観客席など、北海道の新たなシンボルとなるスタジアムである。



一般トイレ トイレ入口

トイレ入口の緑色の門型には、ナラの無垢材を使用。入口から内部に導きいれるように大きなサインを表示している。



一般トイレ 女性トイレ 洗面コーナー

ブースの空き状況がひと目でわかるよう配慮したアイランド型の洗面コーナー。さらに、洗面コーナーには、鏡を設置せず、身だしなみを整えるスタイリングコーナーを別に設けることで、混雑緩和を図っている。



一般トイレ 女性トイレ スタイリングコーナー

洗面コーナーとは別に、身だしなみを整えるためのスタイリングコーナーを設置。隣人の視線が気にならないように個別鏡を採用。さらに全身を映す鏡も設置されている。



一般トイレ 女性トイレ 大便器ブース

大便器は、前出寸法がコンパクトで連続洗浄可能なパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式とウォシュレットPを採用。出入りのしやすさと使いやすさから、紙巻器を扉の吊元側奥に設置した。



一般トイレ 男性トイレ 洗面コーナー

清掃性に優れた壁掛ハイバック洗面器と、衛生配慮として自動水栓を採用。洗面コーナーの回転率を優先し、洗面器の正面には鏡を設けていない。また、多様な利用者への配慮として、1ヶ所に手すりを取り付けている。



一般トイレ 男性トイレ 小便器コーナー

ホワイト&ブラックのコントラストが印象的な空間。床の清掃性や節水性に優れた壁掛型の自動洗浄小便器を採用。小便器にも多様な利用者へ配慮して、1ヶ所に小便器用手すりを取り付けている。



一般トイレ 男性トイレ ひろびろブース

ブースの1ヶ所には、お子様連れに配慮してベビーチェアを設置したひろびろブースを用意。さらに、ひろびろブースと手前側のブースにはL型手すりを設置し、多様な利用者へ配慮している。



VIPトイレ 女性トイレ 洗面・スタイリングコーナー

VIPトイレの内装は、北海道の自然をイメージした木調の素材を多用。ベッセル式の洗面器とシンプルなデザインの水栓金具が、落ち着いたラグジュアリーな空間を演出している。



VIPトイレ 男性トイレ 小便器コーナー

シンプルなデザインと節水機能を両立した壁掛型の自動洗浄小便器を採用。利用者への配慮と、配管の凍結防止を目的としたパネルヒーターを設置している。



VIPトイレ 男性トイレ 大便器コーナー

大便器は、ローシルエットデザインで空間がスッキリ仕上がるパブリック向けウォシュレット一体形便器を設置。ブースの広さは、一般トイレよりも少し広めとしている。



VIPトイレ バリアフリートイレ

使いやすさと空間としての統一感のあるデザインを実現する、フラットカウンター・バリアフリートイレパックを採用。車いす利用者やお子様連れ、オストメイトなど、さまざまな利用者に対応できる設備を完備した。

エスコンフィールドHOKKAIDO



選手用トイレ 全体

選手専用トイレの内装は、黒を基調にファイターズカラーのブルーをアクセントにした、精悍な印象のインテリア。選手専用のため、男性トイレのみ設置している。



選手用トイレ 洗面コーナー

ベッセル式の洗面器とシンプルなデザインの自動水栓がスタイリッシュでモダンな空間に調和している。



選手用トイレ 小便器コーナー

シンプルなデザインと節水機能を両立した壁掛型の自動洗浄小便器を設置。プライバシーに配慮し、小便器の間に仕切りを設けている。



選手用トイレ 大便器コーナー

選手が試合中に使用することを考慮。ブースから出る際にもプレーにおける集中や高揚感を損なわず、迅速に使えることを第一優先とするため、ブースの扉は外開き仕様としている。



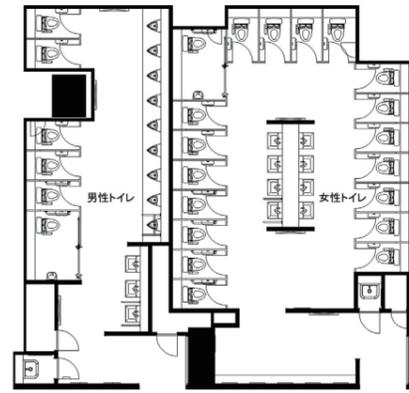
ダイニングエリア 男性トイレ

選手が食事や休憩時に使用したり、球団が招くゲストが使用するダイニングエリアのトイレ。男性トイレは、ゴールドで縁取りした鏡に、モダンな印象の壁柄を組合せた上質なインテリア。

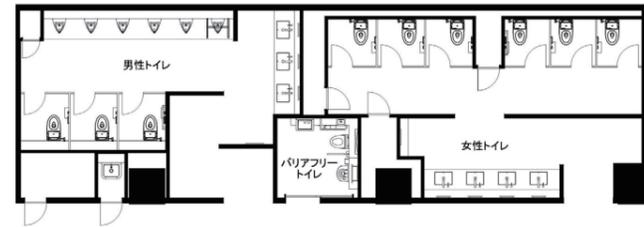


ダイニングエリア 女性トイレ

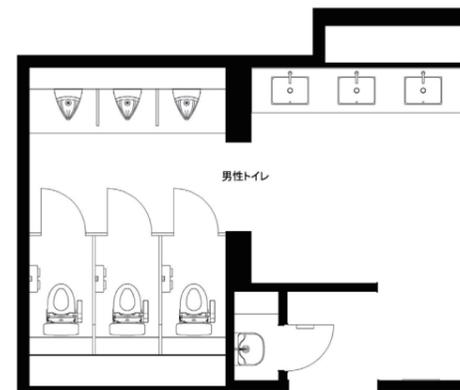
女性トイレの内装は、ゴールドで縁取りした鏡とクラシック調の幾何学模様の壁が、シンプルながら優雅さと高級感を演出している。



一般トイレ図面



VIPトイレ図面



選手用トイレ図面

水まわりの特長

建物の特徴

「エスコンフィールドHOKKAIDO」は、北海道日本ハムファイターズの新たな拠点となる球場。新千歳空港と札幌の間にある北広島市に位置、広大な敷地面積5haに周辺環境との調和を第一に考えた外観のもと、掘り込み式フィールドから地上4階まで観客エリアが広がり、収容人数35,000人を誇る日本初の開閉式屋根付き天然芝球場である。球場内部には、温泉・サウナ施設、宿泊施設、ビール醸造場なども併設し、プレイヤーファーストとファンファーストの両立を実現。同球場は、北海道のシンボルとなる世界がまだ見ぬボールパークを目指し、自然と共存する次世代ライブエンターテインメントや心身を育むウェルネスソリューション、文化交流が活発な街づくりを推進する「北海道ボールパークFビレッジ」の中核をなす。

トイレの特長

一般用、選手用、VIP用と分かれるトイレの設計にあたり、球団側と設計側からなるメンバーでトイレ分科会を結成し、ていねいにプランニングがなされた。一般トイレは、他球団と比べ女性ファンの比率が高いため、男女比は4対6で設計。「できるだけ回転率を上げること」「全体を一望しやすいこと」にこだわり、男女共に洗面コーナーには鏡を設けず、効率的な空間を目指した。選手トイレは、試合中も選手の集中を損なわないよう、内装意匠やブース扉を外開きにするなどの工夫を凝らしている。ブース数については、「球団の長年の経験値」と大規模災害時の避難所などで参考にされる国際基準である「スフィア基準」をベースに、器具数を独自に算出し配置。新球場にふさわしいトイレが実現した。

建築概要

名称	エスコンフィールドHOKKAIDO
所在地	北海道北広島市Fビレッジ1番地
施主	ファイターズ スポーツ&エンターテインメント
設計	株式会社大林組、HKS
施工	大林・岩田地崎特定建設工事共同企業体
竣工年月	2023年1月
敷地面積	約130,000㎡
建築面積	約50,000㎡
延床面積	約120,000㎡
構造・階数	鉄骨造、一部鉄筋コンクリート造・地下2階、地上6階

おもなTOTO使用機器

- パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式:CFS497BPC
- パブリック向けウォシュレット一体形便器:CES9251M特
- ウォシュレットP:TCF589AUY
- 棚付二連紙巻器:YH701、YH700AD
- スベア付紙巻器:YH150 R/L S
- 自動洗浄小便器:UFS900WR
- 壁掛ハイバック洗面器:LSB135AA
- 洗面器:LS716、LS717CM
- 台付自動水栓:TLE25507J
- 水石けん入れ:TLK05202J、TLK05204J
- 自動水栓一体形電気温水器:REAH03B1系
- 電気温水器:REWF03B1SM
- フラットカウンター・バリアフリートイレバック:XPDA0LS*211WWW系
- ベビーシート:YKA25S
- ベビーチェア:YKA15S